

令和4年度国民健康保険保健事業の実施計画(案)

事業名	歳出予算額	評価指標	令和4年度 (目標値)	令和3年度実績 (12月末時点)
特定健診事業 被保険者を対象とした健康診査を実施し、結果に応じて保健指導に導くことで、疾病の早期発見と生活習慣の改善を図り、もって医療費の適正化に資する。	55,394千円	・ 集団健診実施回数	16回	13回
		・ 特定健診受診率	55.0%	23.6%
		・ 特定保健指導率	50.0%	0.5%
はり、きゅう施術補助事業 被保険者の健康増進のため、はり、きゅう施術費の補助(初検料 200円 1術700円 2術800円)を行う。	1,920千円	・ 利用件数	1,800件	1,431件
がん検診事業 健康増進課が実施するがん検診について国保該当者の検診料を一部負担する。	10,306千円	・ 集団検診の回数	17回	14回
		・ 胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診 受診率	20.0%	—
医療費通知事業 被保険者へ利用した医療費の明細を送付することにより被保険者の関心を喚起して、医療費適正化を図るとともに、不正請求の端緒とする。	810千円	・ 発送回数	3回	2回
ジェネリック医薬品推進事業 ジェネリック医薬品について、被保険者に対し先発薬との差額通知書を送付し、意識啓発と利用率向上を図る。	459千円	・ ジェネリック医薬品利用率	80.0%	80.8%
糖尿病性腎症重症化予防事業 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、糖尿病性腎症の高リスク被保険者(対象者)を抽出し、重症化予防のための保健指導を行う。また、「未受診者」「受診中断者」を抽出し、受診勧奨を行う。	1,952千円	・ 保健指導実施回数	60回	30回
		・ 保健指導修了者数	15人	—
		・ 検査値の改善率	60.0%	—
こくほシェイプアップ事業 体脂肪率改善及び筋力向上並びに運動習慣の確立を図り、生活習慣病の予防を通じた医療費適正化を推進する。	1,012千円	・ 事業受講者数	160人	24人
		・ 受講者の体脂肪率の改善率	80.0%	64.7%
		・ 健康づくりに関心を持った人の割合	100.0%	94.7%
脳ドック事業 脳疾患の早期発見、特に脳卒中の防止のため、30歳以上の国保被保険者が脳ドックを受診する費用のうち、およそ85%を助成し、受診者の自己負担額を抑えることで受診を促進し医療費の適正化を図る。	4,230千円	・ 助成者数	180人	90人
歯周病検診事業 歯周病の予防は、歯・口腔だけでなく全身の健康の面からも重要であるため、歯周病の検診を行う。対象者は、30歳以上の国保被保険者とし、検診に係る自己負担額を無料とすることで、受診を促進し医療費の適正化を図る。	1,650千円	・ 受診者数	500人	101人

特定健診事業（みなし健診）について

1 事業の目的	特定健診受診率の向上
2 事業概要	<p>本市の令和2年度の特定健診受診率は、約34%で県内では高い受診率ですが、ここ数年伸び悩んでいます。</p> <p>定期的に通院しているため健診を受けない方を対象に、診療の中で特定健診と同等な検査を実施している内容を市へ提供してもらうことで特定健診とみなし、特定健診の受診率向上を目指します。</p>
3 対象者	みなし健診を希望する者
4 予定対象件数	25件
5 予算額	業務委託料 69,000円 （単価：2,500円+消費税10%）×予定件数：25件
6 委託先	山陽小野田医師会

山陽小野田市特定健診受診率の推移

